

コミュニティ・スクールを活用した 子どもの学びと地域のつながりの充実

令和6年度 第3回総合教育会議
令和6年11月20日

次 第

- 1 コミュニティ・スクールについて
- 2 豊橋市のコミュニティ・スクール
- 3 コミュニティ・スクール導入の効果
- 4 今後の方向性

1 コミュニティ・スクールについて

2 豊橋市のコミュニティ・スクール

3 コミュニティ・スクール導入の効果

4 今後の方向性

3

コミュニティ・スクールとは（制度概要）

法律に基づいて「学校運営協議会」を設置した学校のこと

（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5）

「地域とともにある学校」への転換を図るために、学校と地域住民等が、力を合わせて、学校運営に取り組むための有効な仕組み

（文部科学省）

※地域とともにある学校

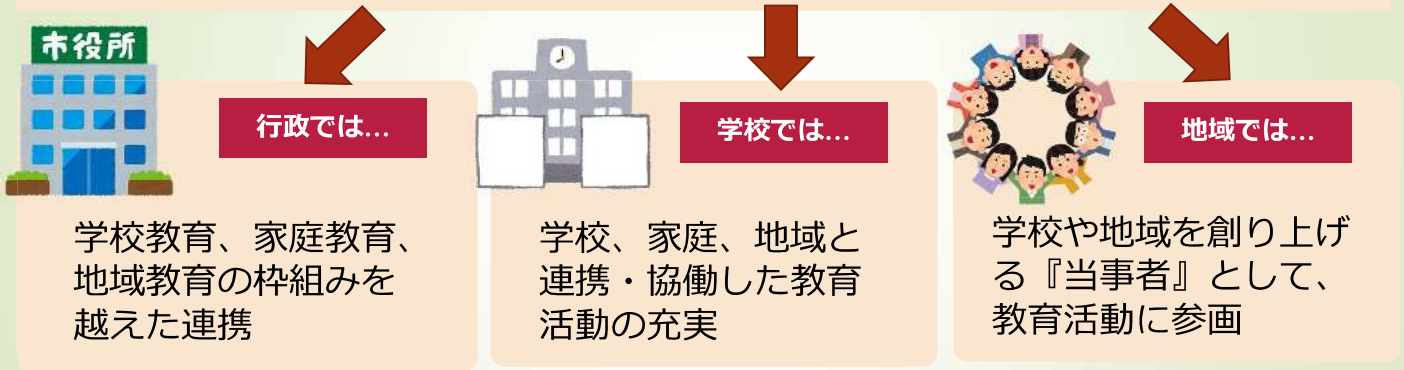
学校に関わる大人同士が「どのような子どもに育てたいのか」「何を実現していくのか」という目標やビジョンを共有し、学校と地域がパートナーとして連携・協働しながら学びを展開していく学校のこと。

学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができる

4

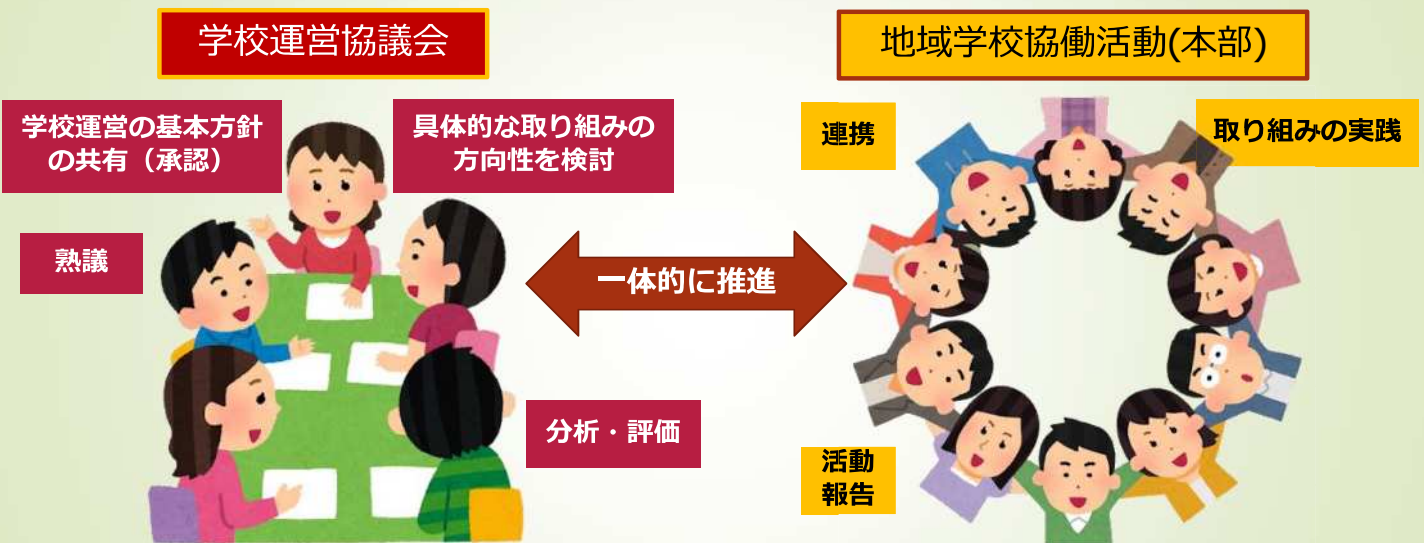
なぜコミュニティ・スクールなのか（背景）

地域教育力の低下、保護者の孤立化、学校課題の複雑化・困難化といった諸課題に、社会全体での対応が求められている。



コミュニティ・スクールの活用により社会全体で対応が可能

コミュニティ・スクールの仕組み（学校・地域）



協議会と協働活動のそれぞれで学校と地域が連携・協働する

学校運営協議会が「企画」地域学校協働活動が「実践」を担う

コミュニティ・スクールの導入状況（R6.5.1時点）

（ ）はR5.5.1時点

校 種 (小・中・義務教育学校)	学校数	コミュニティ・スクール	
		導入校数	導入率
全 国	27,474校 (27,649校)	17,942校 (16,131校)	65.3% (58.3%)
愛知県	1,371校 (1,374校)	544校 (478校)	39.7% (34.8%)
豊橋市	74校 (74校)	4校 (4校)	5.4% (5.4%)

7

- 1 コミュニティ・スクールについて
- 2 豊橋市のコミュニティ・スクール
- 3 コミュニティ・スクール導入の効果
- 4 今後の方向性

8

コミュニティ・スクール導入校（4校）R5.4～



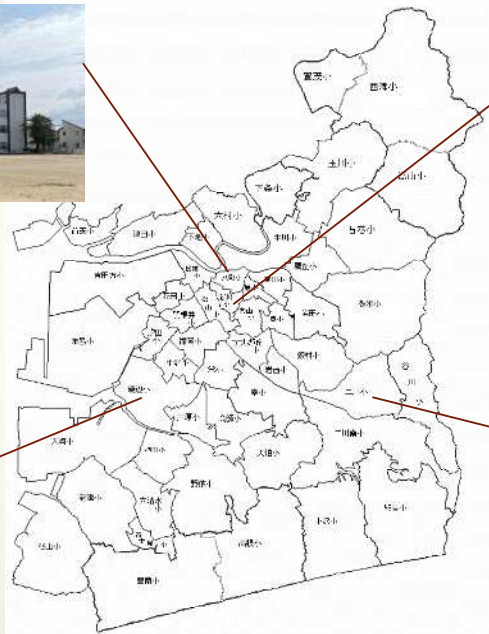
八町小学校



新川小学校



磯辺小学校



二川小学校

八町小学校 サマーチャレンジ（R5,R6）



夏休み期間中、地域の方が先生となって、児童が学びたいことを教える。

第1期：感想文の書き方講座（7/29,30）
第2期：児童が学びたいこと（8/2,5～7）

学校は教室の提供と児童へのチラシ配布
参加者集約や運営はボランティアが行う。

R6年度は、地域の教員OB以外に、児童保護者、中学生・高校生・大学生も先生役として活躍

八町小学校 その他の取り組み



朝の教室の見守り

児童と一緒に登校してきたボランティアの方が、教室や廊下で子どもたちの話を聞いたりしながら、教員の勤務開始時間（8:15）まで、見守りを行う。



給食配膳の補助

校外学習の日、給食準備が遅れるかもしれないと子どもから話を聞いた保護者が、学校に相談してボランティアを募り、当日の給食配膳を行った。

11

新川小学校 地域連携カリキュラム（R5~R6）

地域のヒト・モノ・コトを活用した授業カリキュラム（計画）を全学年で作成して実践する



1学期

校区探検でゴミ調査を行い、各公園のゴミの量の違いに気づく。



2学期

ゴミを減らす方法を考え、考えた取り組みについて、アドバイスをもらう。



3学期

自分たちが考えた取り組みを行い、地域住民にも呼びかけ、協力してもらう。

12

新川小学校 その他の取り組み



校外学習の時間で校外学習に出かける際の付き添いや見守りのボランティア



体育の時間でマラソン大会試走の誘導・監察のボランティア



図工の時間で彫刻刀を使った活動の補助ボランティア

地域連携カリキュラムと合わせて学校ホームページに掲載し、いつどのような支援が行われているか校区の方にお知らせ

磯辺小学校 プール開放 (R6.7.13~14)



コミュニティ・スクールの活動をきっかけに、親子での遊びや学び、ふれあいの場を増やす。

保護者ボランティアが受付や監視に協力。



磯辺小学校 サマースクール (R6.7.25/8.7)



“お勉強とお昼づくり”を目的に、夏休み期間中の子どもたちの学び・体験を支援。

場所の提供と参加児童の集約は学校が、準備と運営はボランティアが行う。



15

二川小学校 学校公開日 (R6.6.14 / 9.11)



赤ちゃん先生の様子 (2年生)

学校公開日を使って地域教育力を活用した実践を推進する。

第1回学校公開日 (6.14)
全時限公開・授業参加可能
※“参加”又は“参観”を事前申告

学校運営協議会で振り返り (8月)

校内のコミュニティ・スクール部会で次回の方針を議論

第2回学校公開日 (9.14)
1時限公開・授業参加可能
※事前申告は不要

16

二川小学校 その他の取り組み



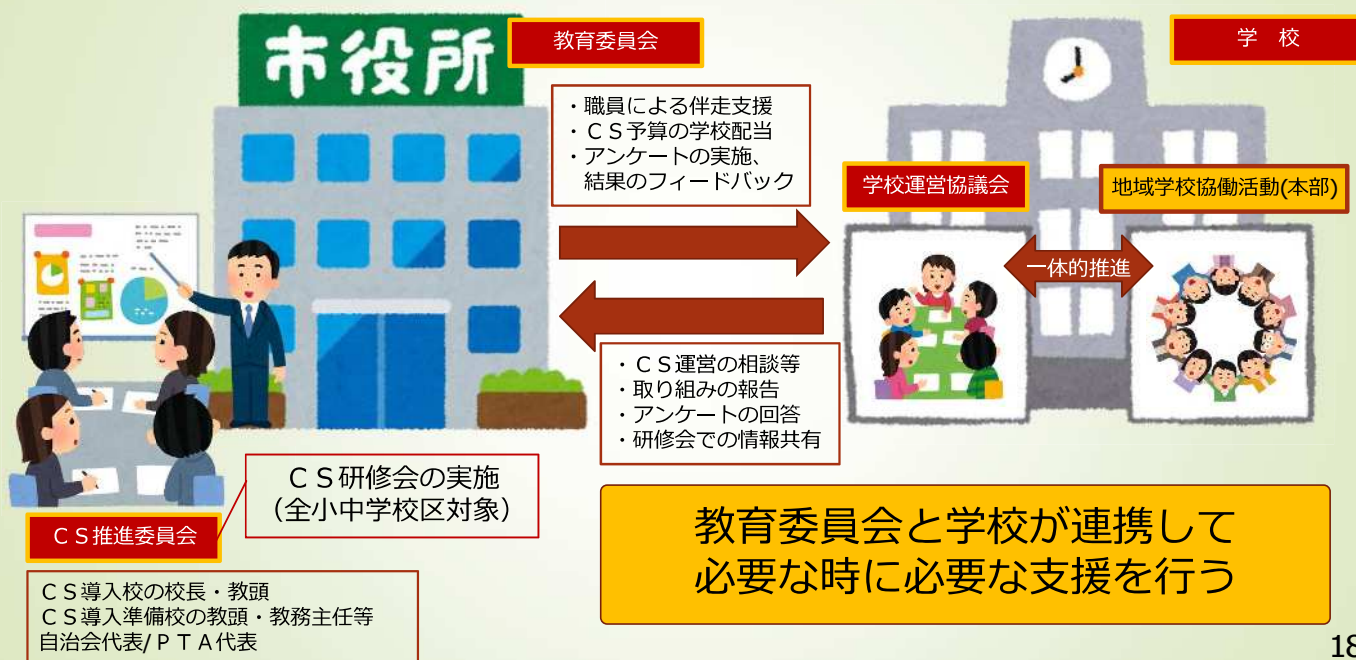
ミシンの技術がある保護者が授業補助を行う。



郊外授業の時間に学校から目的地までの移動経路上で保護者が見守りを行う。

目的地で地域の方が児童に説明を行う。

豊橋市教育委員会の支援体制



教育委員会 CS研修会 (R6.8.6)



全体会

先行してCSを導入している自治体の方を講師に招いて講演を実施



分科会

中学校区単位でグループをつくり、CS導入に向けた準備、導入に向けての課題や悩みについて意見交換

19

- 1 コミュニティ・スクールについて
- 2 豊橋市のコミュニティ・スクール
- 3 コミュニティ・スクール導入の効果
- 4 今後の方向性

20

学校現場の声

地域の方も**当事者意識**をもって、自分事として教育活動を捉えてもらえるようになりました。



土曜日の行事や、教職員の勤務が始まる前の時間など、校長として、**教職員にお願いすることが難しい場合**でも、地域の方に相談すると協力していただける。

地域の大人が学校にいることが**自然なこと**として子どもに受け入れられるようになり、地域の方への**登下校のあいさつが活発**になってきています。



21

協議会委員の声

地域と学校のつながりはこれまでもあったが、授業支援等に関わりやすくなった。



地域行事でも、子ども会、PTA、老人会といった団体の垣根を超えて、協力を申し出る声が発自的に出始めている。

「子どもたちの**豊かな学びと成長**」
「持続可能な**地域社会の創り手の育成**」
に繋がっている。

22

学校評議員制度との違いを感じているか？

※学校評議員制度 校長の求めに応じて、学校運営について評議員（地域の方）に意見を聞く制度

評議員の時は順番に“意見”を述べる感じだったが、運営協議会になって“話し合い”が行われるようになった。



学校評議員は単なる会議の場だったが、運営協議会になって地域学校協働活動による実践が伴うようになった。

学校と地域がパートナーとして関係を築き、実践を伴う連携・協働が実現できている。

23

- 1 コミュニティ・スクールについて
- 2 豊橋市のコミュニティ・スクール
- 3 コミュニティ・スクール導入の効果
- 4 今後の方向性

24

R 7 導入予定校（9校）

▽ 導入済校
（4校）



牟呂小学校



津田小学校



松葉小学校



鷹丘小学校



中野小学校



谷川小学校



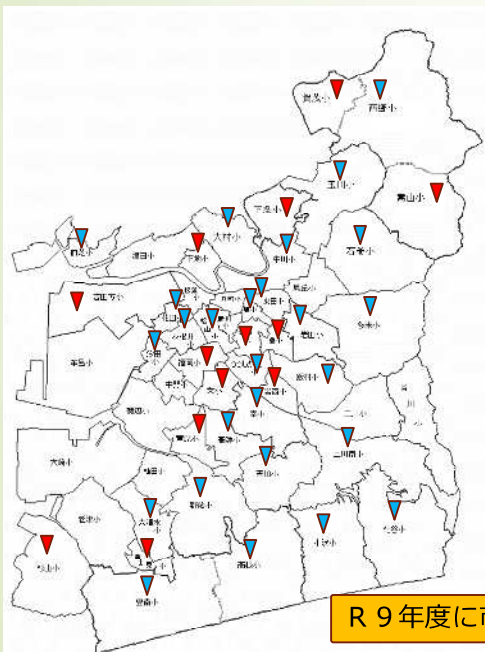
大崎小学校



植田小学校

老津小学校

R 8 年度以降の導入スケジュール



R 8 年度導入予定校（13校）▽

豊小学校、下地小学校、吉田方小学校、
芦原小学校、福岡小学校、下条小学校、
岩西小学校、栄小学校、富士見小学校、
向山小学校、高山小学校、杉山小学校、
賀茂小学校

R 9 年度導入予定校（26校）▽

岩田小学校、東田小学校、花田小学校、
松山小学校、羽根井小学校、大村小学校、
汐田小学校、高師小学校、幸小学校、
野依小学校、牛川小学校、多米小学校、
飯村小学校、つつじが丘小学校、旭小学校、
天伯小学校、大清水小学校、前芝小学校、
西郷小学校、玉川小学校、石巻小学校、
小沢小学校、細谷小学校、二川南小学校、
豊南小学校、高根小学校

R 9 年度に市内小学校に全校導入

導入に向けた課題

コミュニティ・スクール制度の周知・理解



コミュニティ・スクールについて何をするのか理解出来ない。

それぞれの地域でそれぞれに活動しているのに、わざわざコミュニティ・スクールと称してまとめる必要があるのか。

地域の人や学校も、CSについてよくわかっていないので、知らせる機会や研修が必要だと思う。

導入準備校に対する個別説明の機会を設けて対応

27

導入に向けた課題

地域学校協働活動の活性化



教育活動に参加していただける地域の方や団体（ボランティア）を増やしていく必要がある。

⇒ボランティアの登録や通知方法をどうするか？

地域の方や団体（ボランティア）を見つけたり、学校との調整を行うコーディネーターが必要となる。

⇒コーディネーターの人选や処遇をどうするか？

28

活性化に向けて

既存の活動団体を地域学校協働活動で活用



地域のつながりが一層充実

- ・ トヨッキースクール
- ・ 読み聞かせボランティア
- ・ のびるんdeスクール etc



トヨッキースクールの様子

豊橋市のCSが目指すもの

CSの継続・充実により...



地域教育力の向上



地域のつながりの強化・充実

支援される側から支援する側への循環



子どもたちの豊かな学びと成長



持続的な地域の担い手の育成

